

さんえすクラブの会報を創刊します。

さんえすクラブ 会長挨拶



さんえすクラブ会長
榎豆彦 今井 義人

さんえすクラブは発足20周年を迎えました。

「さんえすクラブ」は生活クラブ生協神奈川を中心とした生産者・サービス業者の親睦団体として1987年会員会社・団体48社で発足（現在32社・団体）。生活クラブ、生活者（組合員）、生産者、の頭文字「S」を合せ、三者の連携の願いを込めて命名されました。

発足以来20年、組合員とのコミュニケーションを計るため、まつりや、生産者交流会などに積極的に参加。また、生活クラブをよく理解するため、毎年「生活クラブとは」「デポとは」「福祉クラブとは」などのテーマで会員にたいする研修会等を行ってきました。

「さんえすクラブ」20周年の節目にあたり私たちは、昨年9月会の新年度を期に、これからの20年、「さんえすクラブ」の進むべき方向性について、役員会において議論を重ねてまいりました。当初の目的の、会員相互の親睦、組合員との交流、行事への参加、生活クラブの理解等、については一定の成果を上げたものとの認識で一致。次の20年は、これらで醸成された、親睦、交流、理解、を基に「提案するさんえすクラブ」を目指すことを今期の総会に提案、賛成多数で承認されました。アクティブな「さんえすクラブ」になるように努力しようじゃありませんか。

情報部会と交流企画部会を発足させました。

「提案型のさんえすクラブ」をめざすため、生活クラブ組合員に交流会を呼びかけ、消費材情報を投げかけていく「交流企画部会」。交流企画部会で得た情報や知識を発信して会員に伝達する「情報部会」の二部会を役員会の下に新たに立ち上げたことは先刻ご案内の通りであります。

言うまでもなくこれらの活動の行き着く先は組合員へ、「さんえすクラブ」の生産者の供給する消費材やサービスを知ってもらい使ってもらうことでもあります。また、交流会を通して得た情報の蓄積に基づき、新しい消費材やサービスを開発し結集を高めていくことでもあります。

“生き活きさんえす”を発刊いたします。

このような日々の活動の一旦をお知らせし、活動から得た知識や情報を会員相互で共有するために、会報「生き活きさんえす」を発行することを企画いたしました。

そして会員各位のご支援、編集者各位のご苦労のもと、今日ここに待望の創刊号を発行するのはこびとなりました。

20年目にしてようやく自分たちの会報を持たたかと思うと感無量の思いがいたします。

限りある紙面ではありますが最新の情報やアクティブな活動を発信して、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

皆に生まれ末永く続けていかれることを祈るばかりであります。

08年6月吉日

さんえすクラブの活動によせて

生活クラブ生活協同組合
理事長 鈴木 優子



さんえすクラブの20周年、そして会報の創刊おめでとうございます。みなさまには、私どもの活動にいつも御協力頂き、今年度の5つの地域生協の総代会にも今井会長はじめ役員の方々に御出席いただきました。ありがとうございました。生活クラブにとって生産者のみなさんは、共に共同購入運動を進める仲間であり、大切なパートナーです。特に地元神奈川を中心とするさんえすクラブのみなさまとは、まちづくり運動も一緒に進めてきました。私はみなみ出身ですので、港南センターの近くにお店のある豆彦さんとは特になじみが深く、交流会はもちろん、祭りや地区バザー、野菜センター

での朝市などには、いつも豆腐やおからコロケ、豆乳アイスクリームなどを持って参加して頂きました。こんなに心強い「顔の見える関係」はありません。各地域に同じような組合員と生産者の関係があります。それぞれの地域生協とGMフリーゾーン運動や作付け規制条例制定の署名を進めたのは記憶に新しいところです。交流部会の活動も始まっています。これからも消費材の開発、フェア開催などさまざまな活動を一緒にやっていきましょう。

福祉クラブ生活協同組合
理事長 喜代永真理子

さんえすクラブの活動によせて

さんえすクラブ20周年おめでとうございます。3つのSの連携ももうひとつ次のステップを踏み出すこととなりますね。会報も創刊され期待に胸ふくらみます。新しいさんえすクラブさんとの福祉クラブ生協との関係はますます深まっていく事でしょう。

福祉クラブ生協のふくしまつりも盛況のうちに終了しました。さんえすクラブさんの毎年の協力があり、出来得る事と、いつも感謝しています。普段からの交流会や学習会のみだけでなく「福祉の街作り」への積極的な参加は組合員にとっても大変心強いものです。

それぞれの地域の交流会や各地のまつりを通して組合員やワーカーズコレクティブのメンバー一人ひとりとの顔の見える関係を作り上げてきました。

食をめぐる社会状況は決して明るくありませんが、同じ方向を向いている仲間がいることは心強いものです。これからも一層の連携を顔の見える確かなものとして作り上げていきましょう。



さんえすクラブの活動によせて

生活クラブ生活協同組合
常務理事 大石 高久



さんえすクラブの「再出発」を歓迎します。

さんえすクラブとのお付き合いは、さんえす創立以来だと思いますが、特に皆さんとの関わりが深くなったのは、私がコミュニティクラブ（デポー）の仕事に携わるようになって以降のことで、15年ほどになります。さんえすクラブにはデポーの日配品生産者・雑貨関係の生産者が多いことがその理由ですが、デポーの日々の共同購入をはじめ、リニューアルや新規建設の際のフェア（イベント）で絶大なる協力を頂いています。この場を借りて、感謝申し上げます。

さて、今回皆さんが、あらためてさんえすクラブの存在意義を問い、いわば再出発することを決意した訳ですが、その討議経過を傍らで見る立場にあった私としては、一定の感慨があります。しかし、全てはこれからです。生産者ひとり一人がさんえすクラブの活動に関心を持ち、活動に参加することからしか、新たなさんえすクラブは創ることはできません。皆さんの活動がますます活発化し、さんえすクラブと生活クラブとの連携の深まりが相互に実感できるよう、共に頑張っていきましょう。

交流企画部会の活動について



さんえすクラブ副会長
㈱浜食 中村 秀一郎

「交流企画部会」の主な活動内容は、その名が示す通り交流会が主体になります。「さんえすクラブ」が行う交流会は、食品から雑貨など様々な生産者の集まりであることを活かし、色々なコラボ企画や協力関係が生まれる事にあります。

このようなメリットを最大限に活かし、魅力のある交流会を企画していきたいと考えております。

基本的には多くの組合員に参加できる機会を増やし、食育の事なども考えながら、また年配の方から若い世代へ色々な事を教えて頂きながら、組合員同士の輪を広げられるような交流会を目指しております。

又、今井会長のお言葉にもあったように、この活動の行き着くところは組合員へ「さんえすクラブ」生産者の消費材やサービスを知ってもらうことであり、利用してもらうことでもあり、最終的には新しい消費材開発やサービスを開発していく事でもあります。

■交流会開催目的

- ・08年度交流企画については、まずコモンズ・デポーリーダーに対するさんえすクラブの周知を行う為のプレゼンテーションとして位置付けます。09年度以降は、各コモンズ・デポー企画での本格実施とし、09年度以降は新しい交流企画提案を行っていきます。

■企画概要

- ・開催は各地域生協1会場50人程度とし、「さんえすクラブ」生産者（3社）の参加で行います。
- ・交流会は各地域生協単位で開催目的を明確にし、おおぜいの組合員の参加で実施します。
- ・交流会の企画内容は、統一企画を基本とし、統一企画以外に当日実施する企画・イベントを行う場合は、事前に協議を行い、組み立てについては地域生協の企画で実施します。

情報部会の活動について

さんえすクラブの新たな出発として季刊誌が創刊されることになりました。あらためて会員の皆さまと喜びあいたいと思います。さんえすクラブの発足から20年経過し、その間ご苦勞いただいた先輩の皆様に敬意を表すところであります。さてこの季刊誌は、生活クラブとさんえすクラブ相互の活動を活性化させることが目標であり、この季刊誌の諸活動を通して、さんえすクラブ会員と組合員、職員、ワーカーズが、心身ともに豊かになり、暖かくすばらしい社会の実現を目指すことでもあります。日々の生産活動、消費活動で時間があっという間に過ぎていくのが実情であります。そんな中で最近の急激な世の中の変化は以前にもまして大きなものがあります。印刷物のほかにWEB、メールマガジン等の媒体の活用も考えられるところであります。その日々の活動と望まれることを季刊誌を媒体に、会員相互に伝え合う等、情報を迅速に共有し、よりよい消費材の供給と消費に活用していかなければなりません。激しい変化の内容は、炭酸ガスに代表される環境社会など地球倫理のこと、食の安心安全性、誠実性、食料高騰に関する事柄等、日本の農業や地球のことが身近に感じるようなことでもあります。食料自給率40%、飼料自給率25%なども少し知られてきましたが、お寒い状態でありますし改善の活動をしなければなりません。食料資源だけでなく、資源類の高騰は消費材の生産だけでなく原料の確保と生活者の生活自身も直撃しています。改善は簡単にできる環境になっていません。日本の農業の応援もさらに強めていく必要があるかと思えます。これら諸問題の中において、世の中を良くして行くのだという強い気持ちで、本当に安全な喜んでいただける消費材を作るため、会員共に情報を共有し協力しあいながら作り上げていかなければなりません。季刊誌はその活動の一助として、活用できるものと確信するものであります。



さんえすクラブ副会長
㈱ニッコー 山崎 貞雄



さんえすクラブ全会員 (平成20年8月現在)

 : 交流企画部会

 : 情報部会

(株)秋川牧園

●鶏肉、鶏肉加工品



岡部さん【一言】「はりま」を目標の200万羽へ。あともう少し！



(株)上総屋

●練り製品、はんぺん



竹中さん【一言】厳選した原料だけを用い、美味しく安全なはんぺんです。



(有)カワグチ企画

●念珠・印伝・印章等、全国の伝統工芸品



川口さん【一言】古き良き日本の伝統を後世に伝え、残していきたいです。



共生食品(株)

●豆乳



小林さん【一言】自然との共生を目指した食づくりを行っています。



(株)泰山食品商工

●からし明太子、ちりめん



古賀さん【一言】資源保護、環境、鮮度、美味をかぎりなく追求し、挑戦していきたいと考えています。



(株)東和農産川崎

●デポー青果物



【一言】安全で安心できる美味しいものを厳選してお届けします！

東京カレント(株)

●かりんとう・ドーナツ類



豆生田さん【一言】提携して27年、今後対等互恵の関係で取り組みます。



(株)浜食

●漬物



中村さん【一言】環境、健康、衛生、品質、安心…創業以来のこだわりが浜食の「お漬物」の原点です。



(有)ふとんの愛知屋

●ふとん等・タオルケット



横田さん【一言】よく眠れますか？理想的な敷き布団『西川のムアツふとん』。



(有)ライフ・アート

●減農薬い草の畳替え



佐藤さん【一言】福岡・熊本産の減農薬い草を使った畳替えをご案内！



(株)三雄

●デポー鮮魚



恋塚さん【一言】デポーにふさわしい、新鮮でおいしい魚介類を提供します。



生活クラブ運動グループ地場野菜生産者協議会

●地場野菜

【一言】神奈川の地場野菜生産者、4グループで組織しています。生活クラブ組合員へ向け、より減農薬に向けた活動を進めています。



JA全農たまご(株)

●卵油・健康補助食材



(有)アキヤマ食品

●配送



長川さん【一言】安全・確実に配送をする事をモットーとしております。



英君酒造(株)

●日本酒



望月さん【一言】ふわりとした香りと優しい口当たりのお酒を造っています。



(株)エコ・グリーン

●化粧品・健康食品



大貫さん【一言】みなさんの美容と健康をサポートします！



(株)オリマツ

●包材



瀬山さん【一言】環境に優しい包装資材を意識して時代に合った情報をお届けします。



(株)カジノヤ

●納豆



田島さん【一言】納豆をつくり続けて62年・カジノヤです。



全労災神奈川県本部

●共済保険



【一言】全労済は保障(共済)を通じて組合員の生活を守る生協です。



(株)佐藤印刷所

●カタログ、チラシ等



山田さん【一言】版下作成から印刷、製本まで社内で一貫生産できます。



(株)しむら

●セサミオイル・雑貨



川崎さん【一言】アーユルヴェーダーの伝承医学でポジティブライフを！



常総センター

●レンコン、一般野菜



桜井さん【一言】野菜のアイスクリームなど野菜の加工品も製造・販売しています。



全農パールライス東日本(株)神奈川支店

●湘南さらさら米



【一言】組合員と生産者の皆様から愛される企業を目指します。

和光農園グループ

●柑橘類



【一言】安全で美味しい柑橘を届けたいと頑張っています。



大日本食品工業(株)

●十勝産小豆甘納豆



浪越さん【一言】北海道十勝産の小豆とビート糖を使った甘納豆です。



(株)ニッコー

●モチ米蒸しシュウマイ・中華丼の具・お好み弁当セット



山崎さん【一言】安全で安心な心豊かな食品を作っていきます！



邦栄サービス(株)

●栄養補助食品



鈴木さん【一言】皆さん、食事が偏りがちです。栄養のバランスの大切さを伝えたいです。



(株)豆彦

●豆腐



今井さん【一言】「日本型食」に拘り28年、研究と精進の毎日です。



さんえすクラブ会員紹介

有限会社アキヤマ食品

所在地：神奈川県相模原市橋本台2-5-23

事業内容：一般貨物（冷凍・冷蔵・ドライ・青果・鮮魚）

主な取引先：生活クラブ神奈川、生活クラブ東京、生活クラブ連合会、福祉クラブ、その他

神奈川県相模原市橋本台に本社を構え、今年設立24周年を迎えます。

北部市場を通して、生活クラブ神奈川との関係を保っています。

お客様の願い・要望・気持ちを考え知ることから、ニーズに対応出来る様、和の精神で頑張っています。

従業員一同、常に安全・確実に商品の配送をする事をモットーとし、業務に取り組んでおります。



英君酒造株式会社

所在地：静岡県庵原郡由比町入山2152

事業内容：清酒製造

主な取引先：生活クラブ神奈川、生活クラブ連合会、福祉クラブ、その他

英君酒造は創業明治14年、約130年の歴史があります。

酒名は当時駿府に隠居していた徳川慶喜公の英でた君主から付けられたと聞いています。

初代が分家して始まった造り酒屋なので小作米もなく、当時から全国の優秀な酒米を仕入れて酒を仕込んでいました。

また二代目が蔵から3kmほど離れた山を買い取り、この山から湧き出る良水を使用しています。

酒造りは工業ではなく、人と水と米が織りなす芸術品であるという考え方の元に、現在も出来る限りの手間を掛け、英君の特徴である「ふわりとした香りと優しい口当たりの日本酒」を造り続けていきます。



●担当者からひとこと

英君酒造代表取締役の望月裕祐です。

夏場は試飲会、冬場は仕込みで頑張ってます。静岡県は温暖で米の産地でもないのに日本酒醸造には適していない印象がありますが、良い水と冷蔵技術には自信があります。

今後ともよろしく願いいたします。

さんえすクラブ会員紹介

株式会社 エコ・グリーン

■会社概要

所在地：〒237-0076 神奈川県横須賀市船越町7-40

事業内容：化粧品・化粧品雑貨・無公害洗剤類・自然食品等の販売および健康食品の企画・開発・販売

主な取引先：生活クラブ神奈川、生活クラブ千葉、福祉クラブ生協、その他

■企業活動に関して

1976年に「ハイム化粧品」の神奈川の代理店として発足し、植物由来の自然派化粧品「フィットランド」等も供給しております。当時の主たる取扱品であったハイム化粧品の理念である、「安全・安価・安心」を根幹として、自社独自の「独創性」と「ポリシー」を加えた経営理念で今日に至ります。

近年は化粧品の販売のみならず、「マリンフィッシュコラーゲン」をはじめとする各種健康食品や、「すいとん粉」と言った食品の販売にも力を入れており、当社独自の基準で他に類を見ない原料の細部までこだわった消費材を企画・開発し販売しております。

今後も原料の産地や製法まで吟味し、皆様の健康に役立つサプリメント等をご提案させて頂き、組合員の皆様のお手元にお届けさせて頂く所存です。



■社長のコメント



最近、原料問題における「食の安全性」や、原料偽装問題等での「企業のコンプライアンス」について各方面から関心が高まり、当社の製品においても問合せを頂く機会が増えております。

このような風潮の中で、生活協同組合における食の安全性への取組みは大変重要と思えますし、企業の消費者に対する姿勢も重要であり、今後のさんえすクラブの活動にも期待は大きくなると思われまます。

今後、生産者各位のより一層の「意識統一」と「交流」が不可欠と考え、微力ながらご協力させて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

株式会社オリマツ

所在地：神奈川県横浜市神奈川区青木町10-2

事業内容：包装用用品、容器、資材類全般、厨房用品の販売及び販促ツールの企画・製作ならびにそれに付帯する一切の事業

主な取引先：生活クラブ神奈川、他

包装資材業者に何が出来るんだ。

古くは折箱の製造から始まり、今日でも主要アイテムこそは時代とともに変わってきましたが、食に関わるお客様へのお手伝いをして100年を迎える事ができました。



ただお客様の要望を聞き入れるだけではなく、お客様の売りに結びつく事、お客様を元気にさせる事を意識して日々活動しております。

例えば見た目ですり上げに変化が表れる仕掛けや、一緒にお客様の商品の価値を見つけて、その価値を表現する方法など。

100年という長い歴史の中で得た沢山のお客様。

成功した事や失敗した事も沢山あります。

こんな体験を財産にしてこれからのお客様にますますお手伝いをしていきたい。

次の100年をお客様と共に。



役員会報告

さんえす事務局長 佐藤 丙午
(有)ライフアート

さんえすクラブは、2007年度下記7名の役員で構成されており、1～2ヶ月に1度役員会を開催しております。今回は、役員紹介及び5月の各生協で行われた総代会への出席を報告致します。

役員構成

会長 (株)豆彦 今井義人 副会長 (株)ニッコー 山崎貞雄、(株)浜食 中村秀一郎
事務局長 (有)ライフ・アート 佐藤丙午 常任幹事 共生食品(株) 小林利明、(株)エコ・グリーン 入間川裕也
会計監査 (株)カジノヤ 田島敏夫

生協総代会参加報告

5月22日 湘南生活クラブ生協、さがみ生活クラブ生協 2名参加
5月23日 かわさき生活クラブ生協 2名参加
5月26日 横浜みなみ生活クラブ生協 2名参加
5月27日 横浜北生活クラブ生協 1名参加
5月28日 福祉クラブ生協 3名参加
5月30日 生活クラブユニオン 3名参加



情報部会報告

情報部会長 山田 恵介
(株)佐藤印刷所

この度は、情報部会の活動の第一歩として会報を創刊することが出来ました。日頃のお仕事にご多忙中、ご協力を頂きありがとうございました。これからも、積極的に参加して下さる方々のご意見を尊重し、背伸びをせずに一步一步の積み重ねで活動を発展させて行ければと考え、非力では有りますが努力致しますので宜しくお願い申し上げます。

交流企画部会報告

交流企画部会長 川口 圭
(有)カワグチ企画

「皆が楽しめる交流会」を企画していきます。組合員様との繋がり、生産者同士の繋がりの中での交流から消費材に対する思いや新しい材の開発など新たな発見ができれば有益な活動になります。会員の方々の「想い」で運営される団体です。まず08年度秋に交流会を企画しております。さんえすクラブの新しいスタートにするため会員の皆様の協力をお願いします。

●ふくしまつりに参加しました

6月1日の日曜日。前後の雨天が嘘のように晴れ渡ったこの日、福祉クラブ生協の「第13回ふくしまつり」が県内22会場で開催されました。

さんえすクラブ会員の14社も、それぞれの会場で汗を拭いながら奮闘しました。

その甲斐あってか、全会場で来場者12881名、当日売上359万円と、概ね前年実績を上回る好結果となりました。



速報

●3頁にてご報告しております「08年度交流会企画案」を7月24日開催の共同購入政策委員会において協議し、承認されました。

秋以降、地域生協から交流会企画が提案されます。

◆ 08年度第1四半期データ ◆

1. 生活クラブ組合員人数報告 (6月末)

班・戸配	50,330人
デポ	19,326人
計	69,656人
4～6月拡大数	1,232人

2. 生活クラブ供給報告 (4～6月累計)

班・戸配	437,297万(前年比106.2%)
デポ	117,704万(前年比104.6%)
計	555,001万(前年比105.8%)

一人当たり利用金額

班・戸配	29,257円
デポ	20,408円

3. 福祉クラブ報告

- ・組合員人数 15,125人 (6月末)
- ・4～6月供給高累計 64,184万円 (前年比101.8%)
- ・一人当たり利用金額 14,145円